

# 第1分科会

## 初年次教育が大学教育に果たす役割を考える

### 分科会概要：

本分科会では、初年次教育を題材とした実践内容、新入生および教員が実感する教育効果、直面する課題を示し、初年次教育の今後を、参加者と共に探ることを目的とする。

初年次教育の内容は、大学の教育理念、学部の教育方針によって、様々である。本分科会では、第1に学科単位および学科横断型の授業を実施している事例、第2に2年次生以上の学生が授業運営・改善に参画している事例、第3に専門教育への接続とキャリア教育を組み入れた事例、以上3事例を報告する。

初年次教育を通して、大学は、多様化する学生それぞれの満足度を上げつつ、教育効果をより高めるために、いかなる創意工夫を行ってきたのか。

本分科会での情報共有によって、今後の初年次教育のあり方を深く考える場を提供したい。

### <プログラム>

09:30 趣旨説明

同志社大学商学部 准教授 山下 麻衣 氏

09:35 講演 1. 「社会問題を学ぶ初年次教育—学科単位と学科横断の方法で:東京家政大学の実践例」

東京家政大学人文学部 教育福祉学科 教授 田中（長岡）恵美子 氏

10:05 講演 2. 「学生と教員の協働を軸とした初年次教育：京都産業大学法学部の実践例」

京都産業大学法学部 教授 高畠 淳子 氏

10:35 講演 3. 「職業と学問との融合：和歌山大学経済学部の実践例」

和歌山大学経済学部 教授 長廣 利崇 氏

11:05 質疑応答